

同和問題ビデオ・DVD

番号	題名	内容	媒体	時間(分)
404	光射す空へ	大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描いています。登場人物たちとともに、誰もが人権を尊重され自分らしく生きていける社会について考えていただく内容です。	DVD	32
403	ありのまま生きる ～坂田愛梨・瑠梨～	母から受け継いだ「ありのままに生きる覚悟」。就職・結婚・出産を経た今、伝えるべきことは？仲間、つながり…部落問題をはじめとする人権問題を考えることが「生きる力」を育んだ。	DVD	24
390	あなたに伝えたいこと	ネット上の情報だけでなく、実際に人とふれあう中でお互いを正しく知り合うことが、同和問題をはじめとする全ての差別をなくしていくために重要であることを、若い女性の結婚に関する物語を題材として、明るい希望とともに伝えます。	DVD	36
371	①同和問題 ～過去からの証言、 未来への提言～ ②同和問題 未来に向けて	①…人権教育・啓発に携わる職員や担当者が身に付けておくべき、同和問題に関する基本的な知識、歴史的経緯、問題の本質について、学識者や行政担当者、当事者のインタビューを軸に解説しています。 ②…一般向けのドラマ仕立ての人権啓発DVDです。主人公が、恋人を両親に紹介したところ、出身地に同和地区が多いことを理由に結婚を反対されるが、同和問題に対してそれぞれが真剣に向き合っていく…という内容です。	DVD	①61 ②19
366	皮革と被差別部落	部落産業として発展した皮革業の歴史と、白なめし革づくりと手縫い靴づくりの職人技を紹介します。	VHS	40
353	部落の心を伝えたい ～人権感覚を磨きませんか～	沖縄出身の父と部落出身の母をもち、高校時代の彼女からの一言で自らの差別意識に気づかされたことをきっかけにして、人権問題を分かりやすく語りかけています。また、子どもたちと関わるなかで、いじめ等の差別の芽がどのようにして生まれるのかを伝えています。	DVD	30
352	部落の心を伝えたい ～夫婦で差別と闘います～	部落出身の妻と部落外の夫の若い夫婦が、異なる立場からの部落差別の実態および結婚差別の実体験に踏み込んだ内容にて講演活動をされている。その中で差別は人と人のつながり、そして自分のあらゆる可能性まで断ち切ってしまうことを伝えます。	DVD	30
349	私の中の差別意識 部落差別問題から考える	この作品は、ドキュメンタリーを通じ、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのか考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。	DVD	24
345	部落の心を伝えたい ～若い力は今～	自らの差別体験を通して「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん(27)。若さあふれる熱く力強い語りは行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいる。	VHS	30
344	部落の心を伝えたい ～あすなるを生きる～	40年以上続く福岡の「あすなる解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人たちが集い、学びあい、話し合い、涙する。	VHS	26
338	同和問題と人権 ～あなたはどうか考えますか～	同和問題は、日本固有の人権問題です。同和問題とはいったいどのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、なぜなくなるのか。同和問題を正しく理解し、解決するためにはどうすればよいのか。考えましょう。	VHS	28
333	部落の歴史(明治～現代) ～近代化が存続させた差別～	「部落差別をやめよう」とか「部落に対する偏見をなくそう」とかスローガンを主張するだけでは、部落差別はなくなるのではないのでしょうか。部落の近くに住み、部落という存在をよく知っている人も、あるいは、部落が近くになくて殆ど知らない人も、両者とも「なぜ、部落という地域があり、なぜ差別されてきたか」が腑に落ちない限り、現代にも根強く部落差別を解消する意識が育まれないと思います。	VHS	26
332	部落の歴史(中世～江戸時代) ～差別の源流を探る～		VHS	27
328	白紙のページ ～食肉と私たちの矛盾～	このビデオは食肉を支えている人々の思いを取材し、食卓に「肉」が供せられるまでの過程の記録を通して、私たち自身を考えさせてくれる作品です。	VHS	29
323	グローバルに生きる 風の人になりたい	環境教育プランナー岡本工介の1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着し、子どもたちの教育に人生をかけることを決意する姿を描いた作品。	VHS	37
322	ドキュメント ～叫びとささやき～	被差別部落である更池における「今日的な差別とは何か」を縦軸に、部落差別と在日韓国・朝鮮人差別を横軸にして構成されたドキュメント作品です。	VHS	45
316	部落の心を伝えたい ～私からはじまる人権～	人権問題に深く関わる人生を選択してきた柴原さん宮前さん夫妻の父と母としての思いは「子どもたちに部落出身をどう伝えていくのか」。そして共通のテーマ「私からはじまる人権」の実践。「そしてあなたは？」を問いかける。	VHS	27

306	部落の心を伝えたい ～えびす舞に思いをのせて～	えべっさんと大黒さんの祝福芸から幕が開く。演じるのは、中内正子さんと南公代さん。かつて被差別民が担った、正月の祝福芸と大道芸を、木偶を操って実演する。「三番叟まわし」や「箱廻し」は、庶民の暮らしに根付き親しまれた伝統芸能であった。しかし、経済の高度成長期を境にほとんどが姿を消してしまった。それらの文化は、「負の遺産」として子孫に伝承されなかったという。	VHS	28
305	部落の心を伝えたい ～ぬくもりを感じて～	山と川に抱かれた徳島県吉野川市に生まれた。現在、警備会社で働きながら、年間70回に及ぶ講演活動を続けている。「いじめ」にあいつづけた小学校時代。部落民宣言で知った人の「ぬくもり」。結婚差別と闘う「今」。の3点を収録。	VHS	30
302	ヒューマン博士と考えよう	差別の歴史と人々の暮らしについて、時代を追って明らかにしていきます。	VHS	28
299	部落の心を伝えたい ～人間の尊厳を求めて～	高知市の被差別部落に生まれた森田益子さんは、部落解放運動の最前線で戦い続けてきました。2004年に「やさしい里」を自力で建設。「尊厳をもって接する」と言う考えが深く浸透し、全国からの見学が絶えません。	VHS	25
293	虹のかけ橋	「逃げているはダメだ。差別に負けない強い人間になって欲しい。自分自身のために頑張れ。」と。そんな両親の言葉に、差別に負けない人間に、差別のない社会に、と聡は決心するのだった。	VHS	30
291	きずな ～人間の詩 パート2～	鐘の音が響くとともに、ウエディングドレスに身を包んだミツコが、マサオと腕を組んで進んでくる。二人は大学時代に知り合い、卒業後も交際を深め、ついに結婚式を迎えたのだった。二人を祝福する拍手が響き渡る披露宴会場…しかし、そこにはミツコの両親の姿はなかった。	VHS	26
290	紫陽花のころ	同和地区の青年と結婚して3年たった主人公が、いまだに結婚を認めようとしない父のもとに再三通い、父の考えが間違っていることを正そうとする。結婚は本人どうしの合意によって成立すると憲法に明記されているが、現実には…。	VHS	30
286	同和問題啓発映画 おーい	差別は、誰にとっても無関係ではありません。たとえ悪意はなくても、知らないこと、知ろうとしないことも差別につながるということを理解してもらい、視聴者の皆さんに差別とは何かということをも自分自身の心にもう一度問いかけるものです	VHS	45
285	人の世に熱あれ、人間に光あれ ～部落の歴史3 現代～	部落史の学習が単に知識の習得に終わるのではなく、部落差別の非合理性を認識するとともに、解決に向けての道筋を提示し、部落史研究の成果を示します。	VHS	45
284	人の世に熱あれ、人間に光あれ ～部落の歴史3 前近代～		VHS	40
273	繁栄の時代を支えて	人間は平等であり、差別があってはならないということは、理念として誰でも行き着く考えである。しかし、多くの人は、差別と自分とは直接係わりないと考えていないでしょうか。この作品は、各地の同和地区の人々の生きざまを通して、なぜ同和問題が今日なお存在しているのか問題を提起しています。	VHS	54
251	今でも部落差別はあるの	絵本作家の卵・秋絵に、子ども用の同和問題絵本製作の依頼が舞い込む。同和問題を良く知らないのになぜか気乗りしないし、避けたいと思ってしまった。前向きに取り組めないのは何故か？なんとなくのマイナスイメージは、誰から伝えられたものなのか？	VHS	38
247	今、部落を語る若者たち	被差別部落を取り巻く若者たちの言葉で、部落を語って欲しい。この思いを原点に、取材をもとに制作されています。若者たちは等身大の自分を語り、活動を語り、悩みを語ります。	VHS	27
246	部落の心を伝えたい ～差別っていったい何やねん～	世代を超えて伝えなければならない強い思いがあるー差別のない社会を願い、懸命に生きてきた父や母、祖母、そして多くの先輩たち。川口さんは26歳、その思いを語り継ぐ新世代である。差別の本質を追及し、自分の言葉とわかりやすい表現で語りかける。	VHS	30
245	我ら 心をつなげ	平凡なサラリーマンを主人公に、弟の結婚問題をきっかけに差別に対する心の揺れを描いている。ドラマを通じて企業の社会的な役割や責任を自覚するとともに、一人一人が同和問題を自分自身の問題として受けとめればと考える。	VHS	44
242	私の質問状	滝川亜矢はドリーム不動産に入社して2年。やっと念願の営業課総合職の辞令をもらった。総合職は、女性には無理と言われ、これまで我慢を重ねてきたのだった。	VHS	32
241	未来からのメッセージ	スーパーマーケットを経営している敏夫は、娘の由美子に採用を頼まれて同級生の誠と面会した。申し分のない青年だった。それなのになぜうちのような会社に、と敏夫は疑問に思った。誠は「自分は部落出身です」と打ち明ける。由美子もそれが原因で採用されないのだという。敏夫はいまどきそんな差別があるとは信じられなかった。	VHS	25

238	二つ目の門 ～1枚の調書から～	父の死から1年、5年努めた千葉の会社をやめ故郷へ、父の親友だった工場長の会社へ就職、数日が過ぎたある日、「社員身上書」と「住所明細表」の提出が…	VHS	43
237	風化からの告発	1975年の部落地名総鑑事件から20有余年。あの時の戒めを破り大阪で身元調査発覚。企業と市民の差別意識を問う。	VHS	32
216	滋賀の伝統産業 匠の技・皮革	皮革産業の変遷と人権問題、匠の技・太鼓づくり、紳士靴・町の3部構成になっていて、滋賀県の皮革産業の振興を図るとともに、皮革産業の歴史や役割および同和教育の正しい理解と認識を深める目的で作成された。	VHS	29
211	けがれと差別意識	伊勢神宮を中心に祭りや文化・芸能など様々な事象から差別や矛盾を探る。	VHS	54
206	新時代へのステップ ～同和行政の転換期～	これからの同和行政のあり方について、ゲストとともに考えていきましょう。	VHS	
205	かげろうの街	犯罪者となった青年の姿を通して、差別意識が真実を見えなくしていくことを描く。	VHS	54
202	えせ同和行為排除のために	ある会社のオフィスに、小包の箱が届く。その後の電話から、同和問題に関する書籍の購入を求めるものであることが判明した。対応に出た主任の神山が結論を先延ばしにしていると、相手は次第に高圧的になり、その本性を現してくる。	VHS	30
200	天気になあれ	「みやらけの子もり歌」をアニメ化。厳しい被差別体験に屈せず、人間としてのあたたかみや生きる喜び・力強さを持ち続けた、同和地区出身の一人の女性(カズエ)の、戦前から戦後にかけての半生の物語。小学校高学年から中学生向け。	VHS	41
199	チェリーブラッサム	友情や愛情の関わりの中で、差別と直面したとき、どうするのかを問いかける。	VHS	42
198	そっとしておけば	ある市民劇団での出来事。「隠す」という意識をテーマに劇団員にショートコントなどの課題が出される。「隠して生きる」ことの精神的な負担や苦痛について考える。	VHS	36
196	部落の心を伝えたい 峠を越えて	あらゆる差別をなくしたいー中学校教師としてユニークな同和教育「全体学習」を実践、そこで培われた豊富な体験と強い信念をもとに、差別解消への道筋をエネルギーに語り続ける。	VHS	25
177	琴美の決意	琴美さんには1歳6ヶ月になる男の子がいる。夫の太郎さんと共に、働きながら子育てに懸命の毎日を送っている。琴美さんの両親は、家族の猛反対の中で結婚した。今も母の生家とは断絶したまま…	VHS	37
171	がんばるしきじ ～和泉の識字～	桂文福(落語家) 新屋英子(女優)森実(大阪教育大学助教授)三人の取材と語り	VHS	24
169	洪染一揆 ～明日に架ける虹～	同和問題をはじめとする様々な人権問題の解決に向けた教育・啓発のため、歴史的事実をアニメ化したもの。	VHS	
166	同級生	転勤で滋賀県に引越した父と娘が主人公。父・敏也は、娘・早苗が和太鼓クラブに入ることを反対する。この娘のクラブ活動から父の30年前の問題が解決していく。	VHS	30
165	部落の心を伝えたい ～人の世に熱と光を～	人は何故、平等になれないのか。人は何故、尊敬し合えないのか。「人間は平等であるという水平のものさし」このことを広めるため、全国各地で講演活動を行っている。	VHS	26
160	美しいメッセージ	10代後半をはじめ、若者達の心の喪失が言われています。本当にそうでしょうか。皆、心の交流を望んでいるのでは。少し待てば差別はなくなる言うが。「私は待てない。差別に怯える自分にさよならしたい。」中二の純夏の叫びをみんなは…	VHS	27
158	主語で語る人権教育	中学校でユニークな人権総合学習(部落問題中心)の取り組みを追ったドキュメンタリー。自由で感性あふれる子どもたちを主人公に1年間を描いた本作品は、私たち大人にきっと新しい感動と勇気を提供してくれるに違いない。	VHS	
157	部落の心を伝えたい ～明日天気になあれ～	人権問題を明るく元気に前向きに捉え、全国各地で行動。顔の見える教師として子どもたちの中に飛び込み、人間を育てることを決意した姿を追う。	VHS	27
156	部落の心を伝えたい ～人の値打ちを問う～	江口いとさん、1912年生まれ。人権の詩として広く知られる「人の値打ち」の作者であるいとさんは、息子の差別、孫の差別と3代にわたる差別を経験してきた。	VHS	25

149	新しい世紀にむけて同和行政	1.人権の基礎知識 2.同和問題とは 3.同和対策の変遷 4.特別対策から一般対策へ 5.人権問題解決に向けて	VHS	
148	根っこのルール	人権は、私たち社会生活の基本とも言うべき「根っこのルール」です。「人権」「同和教育とは」「同和行政の変遷」「人権啓発のあゆみ」などで構成。	VHS	
145	パースディレストラン	中学3年生の主人公が、父親の死によって初めて自分の両親の離婚の原因が部落差別にあったことを知り、部落差別と正面から向き合い乗り越えていこうと決心するまでを描いている。	VHS	30
139	らくがき	差別落書きをめぐる、無関心だった人たちの心が次第に開かれていく。いろんな悩みを話していくうちに、同和問題に無関心ではいけないことに気づき始める	VHS	35